

平成17年2月21日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先: 社長室 マネージャー
林 毅俊
電話番号: 03-5730-2753

HGF 糖尿病性虚血性疾患特許が成立(中国)
- 糖尿病による難治性末梢動脈閉塞疾患の治療及び予防が対象 -

当社は、中国において HGF 遺伝子による糖尿病性虚血性疾患を対象とする医薬用途特許が成立し、特許公報(中国特許第 ZL00803835.X 号)が発行されたことのお知らせします。

当社は、先に「HGF 遺伝子を含む発現ベクターを有効成分とする、筋肉内投与用、動脈疾患治療薬」に関する基本特許を出願し、日米などにおいて特許登録を受けております。

一方、糖尿病を併発する、または糖尿病を原因とする虚血性疾患においては血管新生が起こりにくく、一層予後不良であることが知られていることから、難治性の糖尿病性末梢動脈閉塞疾患に対する HGF 遺伝子の有効性も別途検討し、特許出願いたしました(国際出願番号; PCT/JP00/07502)。そして、この度、本国際出願から中国に移行した出願が、まず最初に特許登録にいたりました。

なお、中国においては約 2,000 万人が糖尿病患者と推定されており、それに起因する末梢動脈閉塞疾患の患者数も多いものと推定されます。

本特許は、当社の HGF 遺伝子治療の臨床開発プロジェクトを強力にサポートするものであり、当社はこれからも国際臨床開発にあたり特許網の強化を進めてまいります。

<ご参考>

用語の解説

1. HGF(Hepatocyte Growth Factor、肝細胞増殖因子)

HGF は、肝細胞から発見された増殖因子で、血管新生作用を有する他、発生過程における器官形成や傷害に伴う組織・器官の再生において重要な役割を担っております。当社は、強い血管新生作用を有する HGF 遺伝子を用いて、既存の治療法が無効な難治性虚血性疾患にも応用が期待される治療薬の開発を進めております。

2. 用途特許

通常、製薬業界においては、医薬品の適応疾患を対象とする特許を用途特許または医薬特許と呼んでおり、その疾患での製造・販売・輸入を独占できる強力な権利です。

このほかに、医薬品そのものを対象とする物質特許、医薬品の製造方法を対象とする製法特許、医薬品の製剤を対象とする製剤特許などもあります。

以上